

富士物流株式会社 合同就職説明会

貿易会社の運輸部門が分離独立

富士物流(株)はマリンロジスティクスに特化した国際物流会社。船主、船舶管理会社、造船所、船舶関連機器メーカーなどを顧客とし、船舶に関連するあらゆる委託品の保管・梱包・通関・海外輸送・本船への納品等、国際複合一貫輸送を行っている。親会社の富士貿易(株)(横浜市)がAEO(Authorized Economic Operator)特定輸出者認定を取得しており、その保管・出荷部門を担っている。又、爆発物検査装置も完備。預かった荷物を安全かつスピーディーに発送する体制が整っている。

富士貿易(株)は、1953年に神戸で船舶に船用品を納入する事業からスタート。船用部品・船用品の納入、海外送り、海外からの輸入を手掛けていた同社の運輸部門が81年に富士海陸輸送(株)として分離独立した。当初は横浜市にあった本社を1989年に神

戸に移し、翌90年に現社名に変更した。

「最初は親会社からの仕事がほぼ全量を占めていましたが、現在は全体の約2割程度。独自に顧客開拓を進め、ニッチな分野ながら業界では知られた存在です」と総務部長の木村隆一氏は話す。

「船舶の世界では、航行中の船の部品が緊急に必要なことがあります。万一、部品が届かなければ運航スケジュールに影響が出ますし、運航コストもかさみます。顧客からの要請を受け、指定された港まで一番安全に早く、低コストで部品を届ける方法を調べて提案し、実際に船に届けるころまでが当社の仕事です」。かつては国内の港に入った船に部品を届けることが多かったが、グローバル化の進展で同社のフィールドも世界に広がっている。



総務部長 木村 隆一 氏

新卒採用を積極化

社員数は92人。年代別に見ると、40代後半～50代がボリュームゾーンで、若年層が少ない。「そういう事情から当社の管理職は自ら仕事をこなすプレイングマネージャーです。ただ、そのために管理職本来の業務が十分遂行できないという側面は否めませんでした」。5年、10年経てば、主軸世代が退職を迎え、現場力の低迷も危惧される。そこで組織の若返りを図るべく、新卒採用のあり方を見直すことに。従来、新卒者と既卒者を不定期に若干名採用していたが、一昨年から新卒採用を積極化し、初めの年は4人、昨年は3人が入社、今年は4人が入社する予定だ。「ここまで複数人数を連続で採用したのは初めてのこと」と言い、一層の組織活性化に期待を膨らませている。

学生の興味関心に合わせて、採用活動の場も広げている。「以前はハローワークに求人票を出すことしか行っていなかったのですが、ホームページに採用情報を掲載し、民間求人情報サイトの活用も始めました。このことは一昨年から総務部で働く若手の提案が元になりました。直近に就職活動を経験した人物ならではの意見に耳を

傾け、組織として踏み出してみることにしました」

採用活動のリニューアルを続ける中、昨年にも1つの大きなチャレンジをした。神戸商工会議所が主催する「就職応援フェア」への参加だ。学生が出展する企業ブースの中から関心を持った企業を訪ね、採用担当者から会社概要や事業内容を聞くというスタイル。後日行われる個別の会社説明会につなげる狙いがある。

「関東では1度フェアに出展したことがありますが、地元の関西では初めて。どんなものかと参加したところ、非常に盛況で1回45分計4回の説明会はいずれも満員でした」。来春入社する4人のうち3人は同フェアが初めての接点だった。参加初年度から大きな成果が得られたため、引き続き活用を検討したいとのことだ。

ユニークな海外研修を実施

現在国内2支店1営業所に加え、上海と釜山に現地法人、オランダに駐在員事務所を置く営業体制を敷いている。「人、物、船が集まるところに事務所を設ける方針で、将来的には北米での拠点開設も目指している」という。そうしたグローバル展開の中で急がれるのが、世界を舞台に活躍できる人材だ。「採用段階では特別に語学力を問うていませんが、英語などの外国語に触れる機会が多いため、働きながら語学力を



年齢の近い先輩が教育担当を務め、新人を育成する

養ってもらい必要があります。採用時は人物重視、英語ができればなお良しというスタンスです」

同社でユニークなのが、毎年グループ会社合同で行っている新入社員研修だ。入社後約1週間は座学の研修を受け、その後、男性のみシンガポールのグループ会社で1カ月半の実地研修に参加する。新人たちは港湾貨物取扱量世界2位を誇るシンガポールの繁栄ぶりを目にしながら、港に停泊する船に船用品・食料を届ける業務を経験する。「研修期間中、同じ場所で寝起きしますから、『同じ釜の飯を食う仲間』ならではの絆、仲間意識も生まれます」とのことだ。一方、女性は一足早く自分の持ち場に付いてOJT研修を経験する。

男女ともに配属後の一定期間、教育担当である先輩からマンツーマンで指導を受ける。その日の自分の業務とそれを通じて感じたことをノートに記し、それに先輩が回答する。さらに部門長が両者の記述にコメントする形だ。「新戦力を迎えたことを機に、ベテランたちがこれまで当たり前のように行ってきた業務を見つめ直すこと

も意義深いです」。思い描く将来ビジョンの実現には若年社員の力が欠かせない。それをどう引き出すかが喫緊の課題だ。

DATA

富士物流株式会社
代表取締役社長 宮崎 龍平
事業内容：通関業、一般貨物輸送事業並びに貨物取扱事業、国際輸送に係る一般混載事業ほか
創業：1981年
所在地：神戸市東灘区深江浜町6番地
電話：078-411-7636
<http://www.fujitransport.co.jp/>

▶商工会議所担当指導員より

同社は、昨秋の合同就職説明会「就職応援フェア in KOBE 2016」への参加を通じ、今年4月入社予定のうち3人の採用に至りました。

同社では会社の将来を見すえ新卒採用の積極化など人事戦略を見直し、若手社員の育成と管理職のマネジメント能力の向上にも取り組んでいます。今後益々、神戸港の発展を担う企業としての活躍が期待されます。

今秋開催予定の合同就職説明会は、出展対象企業を市内のみでなく、兵庫県下に拡げて実施します。2017年4月の採用を検討されている会員事業所様はぜひお問い合わせください。

(事業部人材開発チーム)



初参加の「合同就職説明会」は大盛況だった